

## 記載要領

【応募書式1】

令和6年7月22日

住所 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地  
名称 パシフィックコンサルタンツ協議会  
代表者氏名 パシコン太郎

代表申請者の代表取締役氏名を記載して下さい。

### 事業計画書 (モーダルシフト加速化緊急対策事業)

#### 1. 協議会の名称及び代表者

名称	パシフィックコンサルタンツ協議会
代表者の氏名とその所属先	パシコン太郎 パシフィックコンサルタンツ株式会社

#### 2. 協議会の構成

<input type="checkbox"/> で囲む	構成員 (担当者)
<input checked="" type="checkbox"/> 輸送委託者 <input checked="" type="checkbox"/> 輸送事業者 <input type="checkbox"/> その他	社名 パシフィックコンサルタンツ株式会社 住所 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 担当部署 ○○部○○課 担当者名 <u>モーダル二郎</u> 連絡先 TEL ( 03-1234-5678 ) E-Mail ( ~~~@~.co.jp )
<input type="checkbox"/> 輸送委託者 <input checked="" type="checkbox"/> 輸送事業者 <input type="checkbox"/> その他	社名 株式会社○○物流 住所 東京都港区芝浦○丁目○番地 担当部署 ○○部○○課 担当者名 ○○○○ 連絡先 TEL ( 03-××××-×××× ) E-Mail ( ~~~@~.co.jp )
<input type="checkbox"/> 輸送委託者 <input type="checkbox"/> 輸送事業者 <input type="checkbox"/> その他	社名 住所 担当部署 担当者名 連絡先 TEL ( ) E-Mail ( )

※お問い合わせの窓口となる方の担当者の氏名に下線を付けること。

※欄が足りない場合は、別葉にて作成すること。

代表者が所属する企業・団体の担当者がお問い合わせ窓口となります。

### 3. 事業の概要

#### 1) 背景・経緯

○協議会の構成員が実施している事業の概要（どういった事業を営んでいるか）やこれまでの輸送の状況を記載するとともに、モーダルシフトを実施するに至った経緯を記載して下さい（単に「環境に対する取組みを推進する」といった漠然としたものではなく、具体的なきっかけと、その手段としてモーダルシフトを選択した理由を記載して下さい）。

#### 2) 事業の内容

○本件事業の内容、実施体制や役割分担等を記載して下さい。

#### 3) 目標等

○本件事業を実施する上で設定している目標等を具体的に記載して下さい。  
○本件事業以外に環境、労働生産性向上に関する構成員の取組み等PRすべき事項があれば詳細に記載して下さい。

#### 4) 概要図

○本件事業の概要図を記載して下さい。  
※図式の指定はありません。

### 4. 事業の先進性・波及可能性

○本件事業の実施に当たっての先進的な取組（コンテナラウンドユース等）や、今後協議会を構成する関係者の内外を問わず、他のモデルとなるような波及可能性の両方並びに本件事業を実施する上での工夫する点などを具体的に記載して下さい。

### 5. 事業の実現可能性

○本件事業を実施するため、どのような課題を洗い出し、どのような解決策を講じたか、洗い出された課題とその解決策を具体的に記載して下さい。  
○今後解決すべき課題がある場合は、それを解決する時期と解決策について、具体的に記載してください。  
○当初の計画から乖離した場合の本件事業の見直し体制・手法について、具体的に記載して下さい。

## 6. 事業の継続可能性

- 補助金による支援が終了した後も本件事業を継続できることについて、根拠を示して具体的に記載して下さい。
- 本件事業の継続が困難となった場合を想定し、どのように解決を図るか、具体的に記載して下さい（例えば、本件事業の継続が困難となる場合をケース別で想定し、ケースに応じた解決策を記載して下さい）。

## 7. 他の環境負荷低減や物流効率化の取り組みとの関連

- 国又は地方公共団体が推進する他の環境負荷低減や物流効率化の取り組み等に関連する事業（「ホワイト物流推進運動」の「自主行動宣言」の必須項目に合意し、賛同表明している、「パートナーシップ構築宣言」において、グリーン化の取組について宣言を行っている等）を記載して下さい。また、コンテナ輸送等にあたってパレットを導入する場合や、共同輸配送等にあたって物流情報標準化に取り組む場合などもその旨を記載して下さい。

※経路が1つのみの場合には総括表の記載は不要です。

9の表のみ記載で問題ありません。

8. 実施内容《総括表》

類型	1. トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換 2. 新規に鉄道又は海上輸送する貨物	
輸送期間	(輸送予定期間) 令和 年 月～	
輸送経路	転換前 (仮想)	
	転換後	
輸送品目		
輸送内容	<p>※複数経路で申請する場合には、総括表にそれぞれの経路の合計の貨物量、転換距離、省力化効果の合算を計算過程含め記載の上、9に経路ごとの詳細を記載してください。</p>	

9. 実施内容 ※経路が複数

※経路が複数ある場合は、A、B…、1、2…など経路毎に表を作成して下さい。

輸送経路 ( A→B )

類型	1. トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換 2. 新規に鉄道又は海上輸送する貨物	
輸送期間	(輸送予定期間) 令和 6年 10月～	
輸送経路	転換前 (仮想)	<p>A 社工場(●市●町)→○IC→(○○道)→▲IC→B 社倉庫(△市△町) A→○IC【20km】、○IC→▲IC【450km】、▲IC→B【30km】</p> <p>新規貨物の場合は仮想の陸上輸送ルートに記載して下さい。</p>
	転換後	<p>A 社工場(●市●町)→○貨物駅→▲貨物駅→B 社倉庫(△市△町) A→○貨物駅【40km】、○駅→▲駅【550km】、▲駅→B【40km】</p> <p>※輸送経路については、距離の算出根拠が確認できるような <b>1運行あたりの地点・経路を記入</b>し、その根拠となる資料を添付して下さい。(ソフトウェアやウェブサイト等を利用したルート検索結果を添付しても構いません。)</p>
輸送品目	食品、雑貨等	
輸送内容	<p>※年間あたりの輸送内容を記載してください</p> <p>■貨物量：10,000t/年</p> <p>■転換距離（トラック輸送の削減距離）：</p> <p>＜転換前＞ 500km/運行×運行回数250回＝125,000km</p> <p>＜転換後＞ 80km/運行×運行回数100回＝8,000km</p> <p>＜削減距離＞ 117,000km/年</p> <p>■省力化効果（トラックドライバー総走行時間）：</p> <p>＜転換前＞ 平均運転時間10時間/運行×運行回数250回＝2,500時間/年</p> <p>＜転換後＞ 平均運転時間2時間/運行×運行回数100回＝200時間/年</p> <p>＜削減量＞ 省力化された時間：2,300時間/年 省力化率：92.0%</p>	

貨物量は最大積載量ではなく、実重量で計算して下さい。また、**取組実施期間の年間における貨物量**及び省力化効果等を記載して下さい。

※利用計画が複数ある場合は、  
計画毎に作成して下さい。

10. 補助対象となる設備・機器と具体的な用途および効果

利用期間	(利用予定期間) 令和 6年 10月～
事業実施前	B社倉庫(△市△町)からC社工場(×市×町)への食品、雑貨等の輸送は、…  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;">○モーダルシフトの推進に資する機器の導入をする前までの流通業務の内容を記載して下さい。</div>
事業実施後	B社倉庫(△市△町)からC社工場(×市×町)への食品、雑貨等を…  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;">○モーダルシフトの推進に資する機器の導入をしたことにより、流通業務がどのようになるか記載をして下さい。 ○本件事業で導入した補助対象設備・機器等がどのような動きで導入されるのか、把握できる内容を記載してください。</div>
機器導入区 間・箇所	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;">○モーダルシフトの推進に資する機器をどこに導入するか記載して下さい。</div>
機器の 利用内容・ 想定される効 果	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;">○どのような機器を、どこに、何台、何のために導入し、どのように利用するかを記載して下さい。 ○モーダルシフトの推進に資する機器の導入をしたことにより、省力化がどれだけ図れるか(何人分の省人化になるか)を記載して下さい。</div>

8・9で算出した転換距離（削減距離）、貨物量、省力化効果の数値を記載して下さい。  
 ※令和6年度分は、10の利用予定期間からの月割で記載して下さい。

1 1. 年度別事業計画

年度は4月から翌年3月となります。

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
転換距離 (km)	58,500	117,000	117,000	117,000
転換貨物量 (t)	5,000	10,000	10,000	10,000
省力化効果及びその算出根拠 (時間)	1,150 時間 ※9. 実施内容の 輸送内容に記載	2,300 時間	2,300 時間	2,300 時間
省力化効果及びその算出根拠 (%)	92.0% ※9. 実施内容の 輸送内容に記載	92.0%	92.0%	92.0%

○実施年度により貨物量等が変動する場合は、  
 想定貨物量にて算出してください。

※省力化効果（時間）にはトラックドライバー総走行時間の年間削減時間を、省力化効果（%）には年間削減率を記載すること。

1 2. 他の補助制度等（融資含む）との併用状況

対象設備・機器	実施主体	補助事業名等
○申請した事業内容で他の補助事業も申請する場合や、融資を受ける場合には記載して下さい。		

1 3. 交付申請額算出根拠

(単位:円)

区分	補助事業に要する経費 (総事業費) a	寄付金その他の収入額 b	総事業費 (a)から寄付金その他の収入額 (b)を控除した額 ア	補助対象経費 c	アとcを比較して少ない方の額 イ	(イ×1/2)と基準額※を比較して少ない方の額 ウ
鉄道	50,000,000	5,000,000	45,000,000	40,001,000	40,001,000	20,000,000
船舶	280,000,000	40,000,000	240,000,000	250,000,000	240,000,000	100,000,000

※基準額は補助対象経費に補助率1/2を乗じて得た額以内とする。ただし、鉄道輸送は3億円、船舶輸送は1億円を上限とする。

※ウは千円未満切捨てとする。